

夏瀬の森

だより

令和二年一月二十五日 第八十六号

田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

あけましておめでとぅございます



今年も元旦は午前
零時の太鼓と共に大
勢の方がお参り下さ
いしました。敬神婦人
さん方は冬のごちそう「大焚き火」
でお迎えして下さり、そして午前七
時五分、境内に美しい初日の光が差
し込み新しい令和の
時が動き始めました。

大晦日には総代さ
ん総出で境内のしめ
縄の張り替えと神殿
の装飾、参道に提灯
を吊り、二対の大き
な門松をつくって歳
神様をお迎えする準
備をして下さいまし
た。今年の子年。ね
ずみには子孫繁栄
や財を蓄えると言
う縁起があります。
今年の子年。ねず
みには子孫繁栄
や財を蓄えると言
う縁起があります。
今年の子年。ねず
みには子孫繁栄
や財を蓄えると言
う縁起があります。



今年も元旦は午前
零時の太鼓と共に大
勢の方がお参り下さ
いしました。敬神婦人
さん方は冬のごちそう「大焚き火」
でお迎えして下さり、そして午前七
時五分、境内に美しい初日の光が差
し込み新しい令和の
時が動き始めました。

今年も爽やかな新成人たち



十二月には成人奉
告祭を執り行いまし
た。田殿地区の新年
人達が大田川の畔
式典の終了後、田
殿丹生神社にて揃
お詣りした。元氣よ
く子供も御輿を担
でくられた神様に奉告

しい若者になった
させ、いたれた
き、男代表が
ぞれの御神酒
玉串を捧げま
でした。御酒
は乾杯をされた
後は賑やかな
記念撮影。大
勢の親御さん、
さん、おばあ
ちゃん達も一
になつて陽が
落ちるまで賑
やかな境内で
した。



粥占い神事

小豆粥と竹筒で



一月十五日
深更。粥占神事
を執り行いまし
た。古い鉄釜で竹筒を入れ
炊き、筒への小豆粥を入
物の出来を占います。今
小豆粥が満杯です。令和
橘も穀物も大丈夫です。食
病息災だと言われ、食す
粥。今年も大勢の方に賜
きました。

感謝を込めて焚き上げました



同じく十五日午後から焚き上げ式を執り行い、お守り、し札、飾り、吉兆篋、しめ縄、お祭りの幟、思い出が詰まった人形や、おひな様、結納品など。皆

さん不燃物は納ぼ取りださってめたくださっていたのでまいって助かりました。が、総代さん方が寒風の中で、大切なお品を丁寧に焚き上げるため、顔を上向きに汗を拭き、赤い



姫神に袖を広げて七五三

岸井照代（和歌山）

昨年十一月、和歌山県各地を会場にして「ねんわりピクニックの国わかやま」が開催され、田殿丹生神社が俳句交流会の吟行会場となり、県内外



ちょうど七五三の詣り、お守り、し札、飾り、吉兆篋、しめ縄、お祭りの幟、思い出が詰まった人形や、おひな様、結納品など。皆



美しい英霊殿が竣工しました



英霊殿には西南戦争をはじめ、日露戦争、その戦いにおいて、日本のおいめに尊い命を捧げた田殿地区出身の英霊百八十一柱の霊璽（れいじ）（仏教の位牌にあたります）をお祀り致しました。先代の英霊殿は永年経過により、損傷が激しくなりました。令和の代をお迎えした昨年、遺族会をはじめ多くの方々のご尽力により、新しく造営していただきました。今後、仮殿から霊璽をお遷しする遷座祭の後、四月十一日の戦没者慰霊招魂祭にあわせて、竣工祭をとりおこなう予定です。ご遺族の方々にはあらためて日程等をご連絡させていただきます。

田殿丹生神社敬神婦人会 設立五十周年

昭和四十五年五月、田殿丹生神社敬神婦人会が今年めでたく五十周年を迎えます。これを記念して四月二十五日に五十周年記念大会を開催し、歴代の敬神婦人会役員様をご招待して、新旧の理事さん方と共にお祝いしたいと考えています。記念講演では「内掌典（ないしやうてん）」として昭和から平成への御代替わりの時代に天皇陛下の神事に側近お仕えされた加茂神社（海南市）宮司の橋爪かおり様をお迎えし、内掌典の日常の生活、宮中祭祀についてお話



を伺う予定です。講演は一般の方もご参加いただけます。詳細が決まりましたらお知らせいたします。

ホームページへもお越し下さい
http://www.7b.biglobe.ne.jp/~taidononyujinjay/

